

教科	農業	科目	野菜	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	アグリ
使用教科書	野菜(実教出版)			使用副教材等	ワークシート、視聴覚教材、実習記録簿				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能 野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	思考・判断・表現 野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	主体的に学習に取り組む態度 野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。
評価方法	・定期考査 ・農業鑑定競技 ・小テスト ・実習技能の習得 ・実習記録簿	・定期考査 ・ワークシート ・実習状況の観察 ・実習記録簿	・ワークシート ・実習・授業の様子 ・実習記録簿の内容 ・農業作文

担当者からのメッセージ	・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 ・実習では、特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。 ・また、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、最後まで集中して(責任感)取り組むようにしてください。 ・実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入し、期限を守って提出することを心掛けてください。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 7	○オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを理解する。	※(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度
		○野菜の種類と特徴 ・植物学上の分類や、それぞれの野菜がどのような役割を果たしているか理解する。	・野菜の種類と特徴、その利用について理解できているか。(知) ・野菜の栽培と気候や土地の特性などの環境を関連付けて考えることができたか。(思・主)
		○野菜栽培と生産動向 ・就農者の高齢化や他産業への流出、後継者不足などで全国的に問題となっている遊休地や耕作放棄地の増加について理解させ、そうした中で施設栽培への参入について考えさせる。	・野菜栽培と作付面積、農業就業人口の推移について理解することができているか。(知) ・農業の抱える課題について考え、現在の野菜生産の動向と関連付けて考えることができたか。(思・主)
		○野菜の安全性 ・安心・安全を求める消費者ニーズに応じて、国が定めている規則はどのようなものがあるか、またそれに沿った野菜の生産はどのように行われているか(GAP認証など)について理解させる。	・GAP認証に向けた取り組みが、安心・安全につながる仕組みについて理解できているか。(知) ・有機栽培と普通栽培、特別栽培の違いについて理解できているか。(知)
2	9 12	○野菜の生育と生理 ・本校における野菜の生育の特徴 ・根、茎、葉の成長について	・栄養成長と生殖成長の特徴を理解し、それぞれに対応した適切な管理が必要であることを理解できているか。(知) ・野菜の種類によって、根、茎、葉の成長に特徴があることを理解できているか。(知)
		○栽培環境の調節技術 ・施設栽培における環境調節について ・高知県の推し進めるIoTについて ・人工環境における栽培技術	・栽培環境が野菜におよぼす影響について理解し、その調節方法について理解できているか。(知) ・高知県がIoT技術において全国でもトップレベルにあることを認識し、その概要について理解できているか。(知) ・高知県の特徴である施設栽培の特徴と、その経営的な位置づけについて理解できているか。(知)
		○野菜の流通と経営改善 ・野菜の流通と鮮度保持 ・加工、業務用野菜 ・野菜生産の経営改善	・野菜生産における自然的適地と社会的適地の違いについて理解できているか。(知) ・適地適作について理解できているか。(知) ・野菜栽培における労働時間や生産費などの課題や改善点について考えることができたか。(思・主)
3	1 2	○野菜の育苗について ・育苗の目的と方法 ・育苗技術の実践と応用 ・校内での野菜育苗の実践	・育苗の大切さについて理解することができたか。(知) ・野菜の種類や栽培時期によって育苗の方法が異なることを理解することができたか。(知) ・どのような育苗方法が各野菜に最も有効であるか、考察することができたか。(思・主)